

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2025/7/8
所属学部・研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科
留学時の学年	学部3年

1. 留学先について

留学先大学名		中央民族大学												
留学先所属学部等		教育学院												
留学期間	出発日	2025/2/17	入学日	2025/2/24	修了日	2025/7/4	帰国日	2025/7/4						
住居		大学(紹介) の寮・アパート			民間アパート		✓	その他 (祖母の家)						
	住居の決め方													
	通学時間		1時間半						On campus					
	通学方法		バス											
	居室スペース ✓を入れてください			個室		() 人部屋			その他 ()					
	共有スペース ✓を入れてください			完全個室		キッチン		トイレ		バス		リビング		その他()
食事	自炊 30 % 学食 20 % 外食 50 % その他 0 % ()													
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)		JTBトータルサポートプログラム Gプラン											
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)													加入必須
	その他加入保険		なし											
渡航ルート		ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)												
		羽田 ⇄ 北京(飛行機) ⇄												

2. 留学資金の内訳

自費	✓	貯金	10万 円		アルバイト	円		その他	円
援助	✓	親	30万 円		家族・親戚	10万 円		その他	円
奨学金		JASSO	円		その他名称 ()				円
その他		()							円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	50万	円
-----	---	-----	---

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	元		80,000	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)	元		85,400	円
その他の保険料	元		0	円
査証・在留許可証	元		0	円
住居	元		0	円
光熱費	元		0	円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)	元	500	10,000	円
食費	元	12,300	250,000	円
通学に要する交通費	元	250	5,000	円
教科書、教材費	元		0	円
その他大学に支払った経費	元		0	円
その他 ()	元			円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	なし
その他	なし

3-3. お金の管理方法

渡航時	現金	0 円	✓	その他 (QR決済)	円
留学中	海外送金		キャッシング	その他 ()	
現地での 口座開設	開設した	用意した書類や 気を付けること等 ()			✓ 開設しなかった

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換			
1 外国教育思想史	正規	3	○	有		無
2 写作課	正規	2	○	有		無
3 職業教育学	正規	2	○	有		無
4 高等教育学	正規	2	○	有		無
5 比較教育学	正規	2	○	有		無
6 教育社会学	正規	2	○	有		無
7				有		無

4-2. 授業科目の選択, 登録方法

事務室に直接お話をし、手配してもらう。1週間の聴講ののち、エクセルシートに受講したい科目を記し、申請する。

4-3. 授業内容, 方法に関して

外国教育思想史・教育社会学は哲学を学ぶような講義が想定より多かったため、現在の中国の教育事情を学びたかった自分にはあまり向いていなかったように感じた。ただ、教育社会学は後半になるにつれて現状の課題を紹介するような内容になったので勉強になった。比較教育学・高等教育学は現代の国内外の教育事情を学ぶことができたため、教育体系に関する理解を深められたように感じる。職業教育学は専門学校や技術教育に関する教育体系を学ぶ講義内容であり、自分が知らなかった種類の学校に関して理解を深めることができた。

4-4. 語学力について

当初求められていた語学力では足りないと感じた。特に単語の面で、分からない単語が出てきたらすぐに調べて覚えることが必要である。

4-5. 図書館など学内施設について

郊外のキャンパスの図書館の利用にあたって、留学生は別で申請する必要があるようだった。ただし、学生証があれば入ることはできるがスムーズではない。市の中心部にあるキャンパスの図書館は自由に立ち入れるが、本は借りられないようであった。

4-5. 交換留学期間中の千葉大学での学修について

授業は履修しなかった。ゼミはオンラインで参加させていただいた。

5. 生活面

5-1. 住居について

マンションの敷地内に入るときと建物内に入るときでそれぞれオートロックがあり、かつ外には門番がいるので安全性は高いと感じた。

5-2. 食生活について

脂っこく味の濃いものが多いのでたまにお腹を壊すことがあった。味は特に違和感を感じることはなかった。また日本食や洋食も多くあるので、そんなに困ったことはなかった。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

中国のネットを使う際には問題なかったが、日本を含め海外のアプリケーションを使用するとなるとVPNが必要となる。スマートフォンは比較的快適に使えたが、タブレットとパソコンは接続がうまくいかないことがあったので苦労した。

5-4. 服装について

日本にいるときとそんなに変わらなかったと思われる。

5-5. 健康管理について

乾燥しているのと空気が日本と比較して綺麗ではないため喉がやられたり風邪をひいたりすることが時々あった。マスクを持っていくことや日本で常備薬を購入しておく必要がある。現地にも保険利用で対応してもらえるクリニックがあるようなので安心である。

5-6. 保険, 危機管理サービスの利用について

トータルサポートプログラムに加入したが、特に利用しなかった。

5-7. 課外活動について

特になし

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

友人と外食をした際に知り合った友人が何名かいたが、それ以外は特に交流がなかった。

5-9. 日本から持参してよかったもの

胃薬、頭痛薬、風邪薬、コンタクト洗浄液、コンタクト

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

日焼け止め、衣服、化粧品、生活小物

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

教授や店員さんなど一定の距離のある方に対する態度が日本とは異なり強いように感じた。学生も街の人も、日本から来たと分かると良い反応をしてくれてコミュニケーションを取ってくれることが多かったと思う。

5－12．余暇の過ごし方

旅行

その他

友人とご飯に行く、一人でカフェをめぐる、散歩をする

6．その他

6－1．留学希望者へのアドバイス

派遣留学は、語学力の向上だけでなく自分の関心分野を現地で深く学べる貴重な機会である。慣れない環境に戸惑うこともあるかもしれないが、その経験こそが視野を広げ、自分を成長させてくれる。また現地で出会う人々や文化との関わりから、教室では得られない学びがたくさんあると感じた。少しでも興味があるならぜひ一歩踏みだしてみしてほしい。

6－2．留学を終えて

留学を通じて、語学力だけでなく異文化理解や主体的に学ぶ姿勢を身につけることができました。現地での多様な出会いや体験を通じて、自分の視野が大きく広がったと感じています。この貴重な経験を今後の学びにも活かしていきたいです。